

4 報告会

活動報告、防災士認証状授与式、グループ協議

■開催日：平成30年12月22日（土）

■場 所：御茶ノ水ソラシティ カンファレンスセンター（東京都千代田区）



スケジュール

12:30 防災士認定状・防災士証交付、記念撮影

13:00 受付開始・開場

13:30 開会式

東京都教育委員会 挨拶 東京都教育庁 指導部長 宇田 剛

13:40 第Ⅰ部 活動報告

発表① 「防災活動支援隊報告」 都立南多摩中等教育学校

発表② 「合同防災キャンプ報告」 都立足立工業高等学校

発表③ 「防災士養成講座報告」 都立農芸高等学校

14:25 防災士認証状授与式

挨拶 特定非営利活動法人 日本防災士機構 高田 恒 理事長

14:40 休憩・教員移動

14:55 第Ⅱ部 グループ協議

講演 岩手大学大学院教育学研究科 准教授 森本 晋也 氏

生徒 「避難所運営について」

教員 「各高校の防災教育の取組について」

16:05 各課題・代表班によるグループ協議内容の発表

16:25 閉会式

東京都教育委員会 挨拶 東京都教育庁 高等学校教育指導課長 佐藤 聖一



活動報告

第Ⅰ部では、都立高等学校から集まった生徒と教員に対し、3校から活動報告が行われました。

最初に南多摩中等教育学校の防災活動支援隊より、図上訓練の体験会や各校独自の防災テストの実施の提案などが発表されました。

続いて合同防災キャンプの活動について、参加者を代表して足立工業高等学校から報告がありました。4日間の行程など概略紹介の後、たろう観光ホテル、海岸清掃などのボランティア活動、被災地高校生との交流及び震災学習列車に焦点を当て、記録写真に加えて独自に調査した内容も織り込んで、現地ですら感じたことを、臨場感あふれる語り口で発表していました。そして、様々な

学びを通じて防災の知識を深めるとともに、人間としても成長できたと思うと、高校生らしい率直さで締めくくりました。

最後は、農芸高等学校による防災士養成講座の報告でした。事前研修・宿泊研修・事後研修から防災士資格取得試験までの流れを説明し、12講座の内容を一つずつ丁寧に振り返る姿には、講座の内容をしっかりと消化し、自分の知見として活用できていることが見て取れました。その一端として、杉並区総合防災訓練に高校生防災士として参加した活動も紹介され、聴いている他校生徒たちも、改めて防災意識が高まった様子でした。



防災士認証状授与式

活動報告の後、防災士認証状の授与式が行われました。合格者を代表し、農芸高等学校の稲村杏里さんが、特定非営利活動法人日本防災士機構理事長の高田恒氏より認証状を受け取りました。認定状を携えた稲村さんと、栄誉を共にした合格者たちに、会場からは温かい拍手が送られていました。



グループ協議「避難所運営について」

第Ⅱ部では、事前研修・宿泊研修に引き続いての岩手大学・森本先生による講演の後、生徒は5～6人ずつの46グループに分かれ、「避難所運営について」をテーマに4コマ漫画教材（「防災ノート～災害と安全～」及び本報告書17ページを参照）を使ったグループ協議を、教員は「各学校の防災教育の取組について」をテーマに意見交換を、それぞれ行いました。

生徒のグループ協議では、各グループにいる合同防災キャンプの参加者が司会進行役を担い、合同防災キャンプの経験を生かして協議をリードしていました。

協議後、グループ内でまとめた4コマ漫画の最後のコマのセリフ及び高校生としてできることについて、6グループが発表を行いました。庶務班からは要配慮者への

対応、情報班からは名簿作成に当たっての個人情報の管理、衛生班からは清掃分担のトラブルを避ける方法、食糧物資班からは物資の積極的な管理・運営による配布方法、学校再開班からは地域を活気づける運動会の開催、ボランティア班からは育児経験など各人の専門性に特化した仕事の分担など、多岐にわたるアイデアが提案されていました。

発表を聞いて意識の高さに感動したと話す森本先生は「高校生の節度ある行動が、大人を動かした事例もある。こうした普段からの話し合いが大切。」と今後に期待を寄せられました。

合同防災キャンプで学んだことが全都立学校に共有されたことを実感し、閉会となりました。

